

楽しさを伝えたい

整骨院となると、治療というイメージがあると思いますが、当院では身体が変化していく楽しさを伝えたいと思っています。ただ治療をするだけでなく、患者さんご本人に自分の身体に興味をもって欲しいという想いがあります。

自ら興味を持っていただくとマシンやセルフケアへの関心も自然と高まるため、お勧めしやすくなります。治療に関しても、とても効率良く進めることができます。

興味をもっていただくためにはどうしたら良いのかを考え、様々な角度から色々な話ができるようにしています。

変化を体感してもらう

患者さんには治療の段階で、身体は中心に近い筋肉が使えると軽く動かせるということをお伝えしています。実際に身体の変化を体感していただく手段として、ホグレルは最適なマシンだと思います。患者さんは、パフォーマンスアップを求めている方ばかりではありません。

患者さんからホグレルを使いたいという方は少ないですが、使ってみると直後効果が分かりやすいため、身体が変わるきっかけや変化が体感できて興味を持ってくださる方もいます。ホグレルを体験した患者さんには、「身体が軽くなった」「力が発揮しやすくなった」と変化に気づいていただくことができます。



治療の先まで導く

開院当初は、治療でマシンを使うという考えは全くありませんでした。開院後、患者さんを診ていく中で、再発してしまう方が多いと感じました。どれだけ高度な治療が行われていても、世の中から腰痛患者が消えていないことを考えると、治療以外に考えるべき要素があるのではないかと感じました。

例えばスポーツであれば、身体操作。つまり、動作改善が重要なのではないかとこの考えにたどり着きました。ホグレルはそうした考えに適したマシンでした。ホグレルを使うと、動作改善が行いやすくなります。

一般的なリハビリや治療は、筋力や柔軟性の改善までとされています。当院では、本当に再発予防を行うのであれば、治療の先にある動作改善まで導かないといけないのではないかという思いで、関わらせていただいています。

問診を大切にする

どんなに優れたマシンやセルフケアを勧めても、初めの段階で説明をせずに患者さんに理解していただくことは難しいと感じます。ホグレルに関して、事前に何も伝えずに治療をして、良くなってきたからホグレルをやりたいと勧めるのでは、患者さんは構えてしまいます。そうならないためにも、治療に入る前の問診・検査・カウンセリングがとても大切だと思っています。何のためのマシンなのかをしっかりと伝えて、納得した上で治療を受けていただく事が重要だと考えています。

当院でもそうした流れに変えてから、ホグレルを積極的に使っていただけるようになりました。カウンセリングは最初の来館時に行い、患者さんの状態、身体の使い方についてお話しをしています。そうして動作改善をしようと思ったときには、当院にはホグレルというマシンがあるということをお伝えしています。

日常動作と繋げる

ホグレルの動きと、患者さんの生活背景を考え、日常動作に置き換えてお話をさせていただいています。

ディッピングはしっかりと前鋸筋に効かせて動かせるようになることで、身体の中心の使い方が上手くなると考えています。そうすると、料理などで包丁を使う時も安定して楽に切れますよ、なんてお話をさせていただくこともあります。

ハイプリーでは肩甲骨・肩関節の位置をしっかりと決めた状態で動かす癖がつけられると、高い所の物を取るときにも肩甲骨・肩関節の適合性が良い状態で使えるようになり、肩肘への負担も軽減するため、結果的に痛めることが減りますよ、といったようなお話をさせていただきます。そういった日常動作に繋げることで、スポーツをされない方や女性にも興味をもっていただくことができます。

良くなるためには
どうしたらいいかを考える

